

府線の整備と、新たに仮宿下原線の整備を図ってまいります。過疎対策道路整備事業では、平良平良上線の整備を行ってまいります。

河川改修事業では、準用河川持留川の中山地区護岸工事を継続事業として整備を図ります。

都市計画事業におきましては、昨年に引き続き三文字地区都市下水路工事に取り組んでまいります。

次に国道448号バイパス工事は、平成17年度を最終年度として、国道220号に接続する事業で完了と伺っております。

県道関係では、地方特定道路整備事業で、垂水大崎線の整備、県単道路整備事業でふれあいとゆとりの道づくりを西迫地区に、砂防関係では、水之谷地区の急傾斜地崩壊対策事業負担金を計上いたしております。

『高齢者関係』

ひとり暮らしの高齢者等に對し、快適な生活ができるよう『食の自立支援事業』や『生きがい対応型デイサービス事業』等、生活支援のための事業を推進するとともに、介護者の負担の軽減を図るため『在宅寝たきり高

齢者等寝具洗濯サービス事業』や『介護用品給付事業』を実施し、在宅福祉の向上に努めてまいります。

また、本年度も鹿屋体育大学と連携し『マスターズプロジェクト推進事業』を展開してまいります。昨年度実施しましたアンケート調査の結果を踏まえ、日常の身体活動量の目安等について、さらに調査研究を進めてまいります。

『福祉保健関係』

改築中の野方保育所に隣接する放課後児童クラブを、4月1日からスタートさせております。また、4月1日からは大崎保育所を南光保育園に移管いたしております。

ひとり暮らしの高齢者や身体の不自由な方々などの見守り活動を行う『近隣保健福祉ネットワーク』や『支援費制度』の充実を図り、利用者主体の選択を重視したサービスに努めます。

環境問題におきましては、『埋め立てごみゼロ』を目指し、さらに、ごみの減量化と資源化を進めてまいります。本年度からは粗大ごみの個別回収も実施いたします。

合併処理浄化槽設置補助金制度も引き続き実施いたします。

『教育関係』

文部科学省の学力向上フロンティアスクールとしての研究指定を受け、昨年11月の持留小学校の研究公開では、研究の成果が高い評価を受けております。

今後、その成果を町内のすべての学校に普及させ、町全体の学力向上を図っていききたいと思っております。なお、昨年度から研究指定を受けている大崎中学校が、本年度研究成果の発表を行います。

また、本年度から大崎第一中学校が研究指定を受けますので、学校全体が一丸となつて、指導力等の向上を図っているところでございます。

さらに、地域や社会に開かれた学校経営とより確かな実態に即した特色ある教育活動を推進すべく『学校評議員』の制度をさらに充実させるため、本年度は小学校6校、中学校3校の予算を計上いたしました。

青少年教育に関しましては、海外研修派遣事業を引き続き実施し、心豊かで国際化時代に対応できる青少年の育成に努めます。

生涯スポーツの関係では、自主運営による新しい形態でのスポーツ環境の整備のため、総合型スポーツクラブの創設を検討してまいります。

スポーツプロジェクト推進事業につきましても、調査と検討を重ねてまいります。

『総務関係』

定住促進施策といたしまして、町有地を活用した宅地分譲や民間活力による住宅建設などについて検討を進めてまいります。

また、企業誘致につきましては、本年度も積極的に進めてまいりたいと思っております。

商工業振興関係でございます。本年2月に三文字にオープンいたしました『旬彩処ふるすき』は、空き店舗問題の解消と商店街の活性化を図ることを目的に、商

工会が主体となつて設置したものでございます。この施設を拠点として、商店街発展のための施策がさらに展開していくものと思われま

『水道会計』

水道は日常生活に欠くことのできない社会基盤施設であり、より安全で『おいしい水の供給』

『衛生管理の充実』、『危機管理対策』等、供給サービスのさらなる向上が求められるほか、老朽施設の改良更新等、今や水道は『改良と維持管理』の時代へと推移しております。

主な事業としまして、中山水源地区からの送水施設整備工事等を行います。

『公共下水道事業 特別会計』

本年度は横瀬の栗之峯地区と上飯宿地区の汚水管渠建設工事および大崎クリンセンターの第2期実施設計を計画しております。

平成15年度末までに103ヘクタールの区域を供用開始しておりますが、関係住民のご理解を賜りまして、接続率も、約90%となり、下水道事業の目的でもあります生活環境の改善がなされ、また、この事業の経営が順調に推移しているものと思われま

『おわりに』

これらの施策を確実に遂行し、『ひと・もの・自然、調和が奏でる躍動のまち』大崎町の実現に向け、努力してまいります。